

中間評価の方法

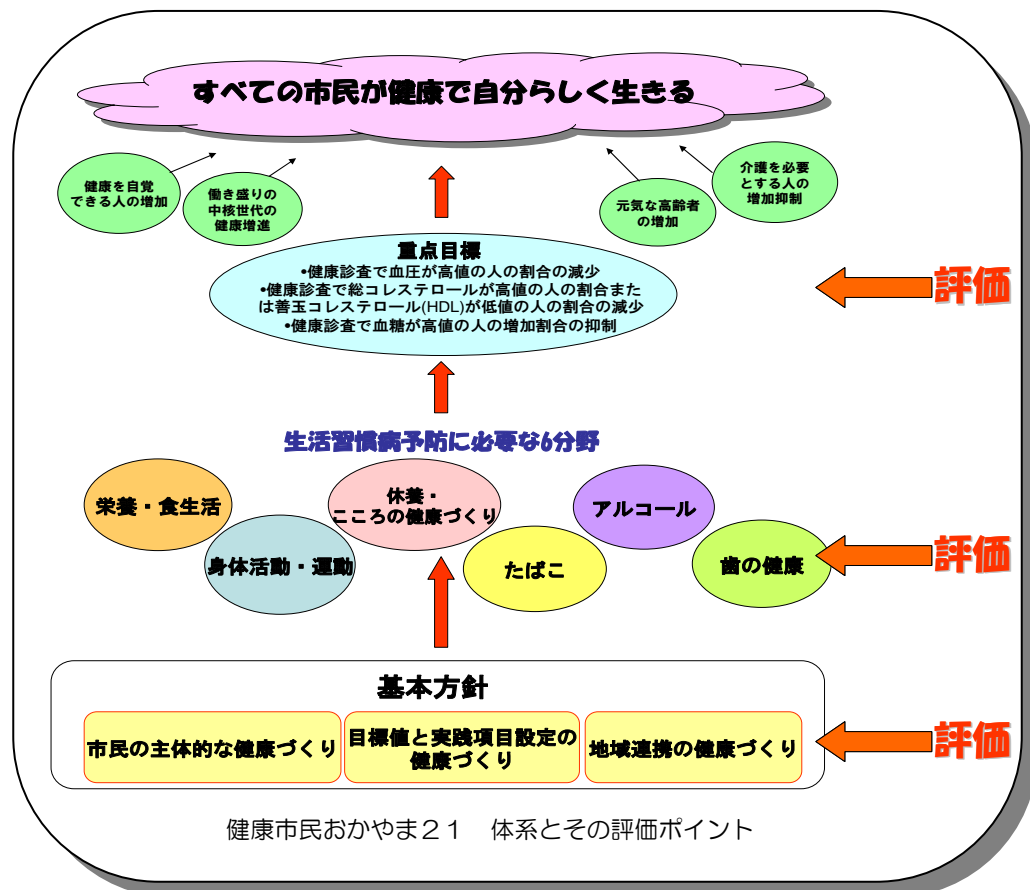
■ 中間評価の目的

- ・ 計画の進捗状況を確認する。
- ・ 必要に応じて計画を見直して、より効果的に推進する。
- ・ 推進者やスタッフで意識の共有をする。

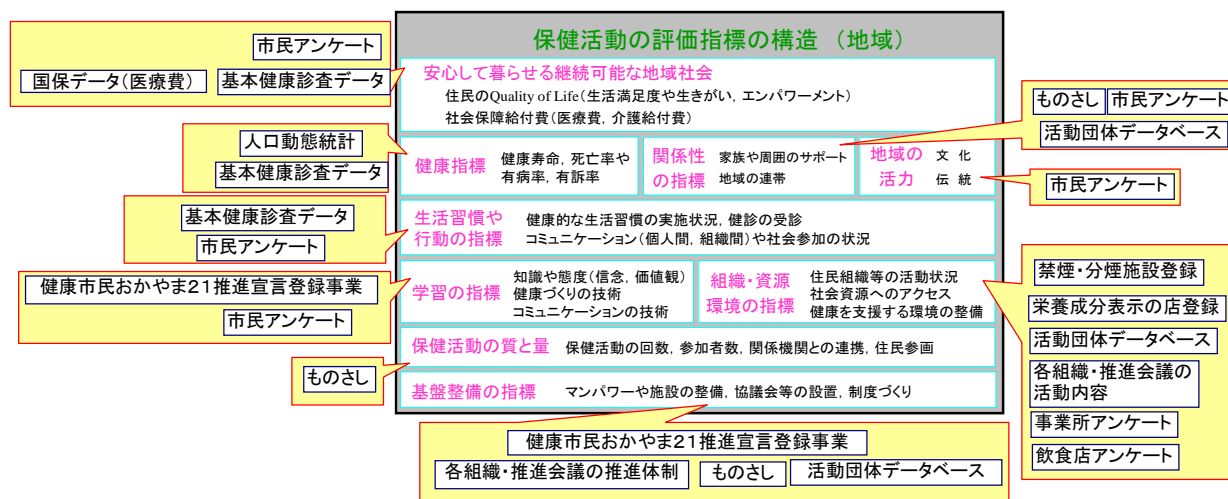
■ 評価の枠組み

健康市民おかやま21の体系図に基づき、「重点目標」の達成度に対する評価、「生活習慣病予防に必要な6分野」の成果の評価、「地域での推進体制」の評価それぞれを行ないました。

評価をするうえで、結果（アウトカム）だけを評価するのではなく、これまでの取り組みの経過（プロセス）やその影響（インパクト）を評価することにも重点を置きました。



■評価指標 ・指標の構造



健康市民おかやま21 評価指標の構造

健康市民おかやま21の評価に使用するデータを、保健活動の評価指標の構造※にあてはめて、どの指標として使用するかをあらわしたものです。既存のデータや、新たに得たデータを利用して、すべての指標を網羅できるようにしました。

※保健活動の評価指標構造（『ここまで進んだ健康日本21の推進（市町村版）』より引用）

■評価体制

・評価のための検討会開催

中間評価を控え、健康市民おかやま21推進会議委員、保健所、保健センタースタッフを対象に、評価のための検討会を平成18年11月に開催しました。中間評価の進め方や評価指標についての案の提示や、評価の考え方について学識経験者による講演を行いました。

・評価部会の設置

市民、専門家、公民館、保険者、学識経験者らで構成し、健康市民おかやま21の進捗管理、評価を行う部会を平成18年12月に設置しました。

平成18、19年度は種々のデータをもとに中間評価を実施し、その結果をもとに今後の方向や重点目標を決定しました。